

## 学校関係者（学校評議員による）評価

- ・どの学級もいい雰囲気の中で学習できていた。
  - ・今後も特別支援の子どもたちへの対応を十分にしていきたい。
  - ・前は学校オープンで保護者もいたため、元気な様子が見られたが、今回は普通の授業の様子が見られた。
  - ・部屋の広さの割に5、6年生は体も大きくスペースもない。本来教室の中に置くべき荷物も廊下に出されている。一貫校になるまでもうちょっと我慢をしてもらわないといけない。
  - ・きれいに掃除されていると感じた。
  - ・廊下や教室の窓が開けられていたのは、換気のためか？
- 今日は見ていただくためという理由もあるが、普段から換気のために開けている。（校長）
- ・通級指導とは？
- 支援学級への入級対象者ではないが、普通学級での学習が困難な子などを週に2時間程度、少人数で、その子に応じた学習ができるようにしている。（教頭）
- ・音楽会について。子どもたちは一生懸命に練習をしていてよかった。楽器の振り分けはどうしているのか？
- 楽器の数を確認後、希望者を募る。その後、オーディション。上手な子ばかりを採用するのではなく、教育的配慮を行っている。また、リコーダーや鍵盤ハーモニカに上手な子を入れることで主旋律を保ったり、パートのリーダーになるようにしている。（校長）
- ・運動会では、暑い中、短期間であれだけのことができるなんて感動した。1人1人が主役になっていて、まとまりと感動のある運動会だった。先生方は大変だったろうなと思う。
  - ・音楽会では、6年生の合奏が「小学生よね?!」とびっくりした。子どもたちも充実しただろう。ただ、6年生の時には保護者席に空席があったのが残念。「自分の子だけでいい」という今の保護者の考え方を変えるのは難しいだろうが、学校からも発信をしてほしい。せっかくのいい機会、地域の人から拍手がもらえる機会を。
  - ・運動会のシルバーシートがなく、見に来ていたお年寄りにはきつかったかも。次年度もし可能ならシルバーシート用にテントを一張り立ててほしい。
  - ・学校評議員のメンバーにPTAからもぜひ。
- 評議員会は4～6名で構成することなので、次年度はPTAの女性副会長から入ってもらう方向で考える。そうすると、男女同数になるので。（校長）